

## 第25回宇美町少年・少女の主張大会最優秀賞 令和6年度「青少年の声」標語入選作品

11月9日(土)中央公民館大ホールで、宇美町教育の日「学びでこどもの笑顔をうみだすまち」研究大会の午前の部として、町青少年育成町民会議が主催する「第25回宇美町少年・少女の主張大会」が開催されました。今月号は、最優秀賞に選ばれた中学校の作品をご紹介します。

### 「宇美町少年・少女の主張大会」とは

子どもたちに、広い視野をもって論理的に物事を考える力や自分の主張を正しく理解してもらう力、柔軟な発想力や創造力などを身につけてもらうことを目的として実施されています。今回は、各小中学校の代表が、「子どもたち(自分たち)にとって、よい町にするためにはどうしたらよいのか」をメインテーマに主張しました。



### 被爆者の差別を知って

宇美南中学校 2年 一ノ宮 奈々さん

私の祖母は被爆者だ。祖母は私が生まれてすぐに亡くなったので祖母から直接話を聞いたことはないが、学校で平和学習を学んだ時に、祖母のお兄さんに原爆について話してもらった。大伯父は初めて人に話すと言って話してくれた。

中学生の夏、原爆投下地点から4キロ圏内の自宅で被爆し、奇跡的に助かった。家の周りは全身火傷の人や死体も多く悲惨だった。今でも人の焼ける匂いや光景を思い出して苦しくなる、と。大伯父は今でも記憶が映像のように頭を流れるそうだ。体験談とともに、世界中から核兵器をなくすことは経験国の日本が伝えなくてははいけなと強く語ってくれた。私は大伯父の「初めて人に話す」という言葉が気になった。思い出すと辛くなるからだろう。でも、核兵器へ強い思いがある大伯父が今まで誰にも話さなかった理由が他にもあるのではないかと。母に聞くところ、祖母も原爆の話はしたがらなかったそうだ。原爆について調べていると「半世紀以上誰にも話さなかった」という被爆者の声が目についた。その理由は「原爆症はうつる」という差別だった。原爆症はウイルスのように人から人へ伝染しない。でも事実ではない噂が広まり、偏見や差別によって結婚や就職を断られたり、出身地がわかるとあからさまに今まで優しく接してくれていた近所の人

手のひらを返したように避けるようになったりしたそうだ。被爆した人の中には被爆体験を「話したくなかった」のではなく、「話せなかった」人もいたのだ。原爆で大切なものを失い辛い経験をしながらも必死に生き延びた先で、次は差別により、また多くのものを失い、苦しみを誰かに打ち明けることもできずにいたのだ。周りは悲しみに寄り添うべきときに差別でさらに苦境に追い込んだのだ。

私はこの差別を知り深く心が痛んだ。そして、噂による差別は現代でも色んな場面であると思った。あたかも真実かのように話をきくと、気づかないうちに自分も差別をおこなってしまうかもしれない。私は自分が加害者にならないように、相手の環境や気持ちを間違えて理解しないようにしっかり考えて想像力をもって言動したいと思う。差別は何も悪くない人を長きにわたって苦しめてしまう凶器だということを忘れてはいけない。

大伯父は後世に伝えるために被爆者の声を残す活動を始めたそうだ。辛い思いをしても、未来の為に体験記を伝えようとしてくださる被爆者の方々に感謝したい。話を聞かせてもらった私は、核戦争の恐ろしさと、差別やいじめなどは絶対にあってはいけないことを伝えていきたい。そして辛い思いをしている人に寄り添ってあげられる優しい心を持って生きていきたいと思った。

小中学校から選考された標語作品を町青少年育成町民会議で審査を行い、入選作品が決定しました。今月号は、中学校の作品をご紹介します。

### 「青少年の声標語」とは

「学校・地域・家庭」をテーマに、「ふるさと・宇美町」の未来、あいさつや人を思いやる心の大切さなどについて、考えてもらうことを目的として実施されています。各小中学校から応募があった全2,875作品の中から最優秀賞、優秀賞を掲載します。

## 令和6年度 「青少年の声」の標語 結果

### 宇美東中学校

最優秀賞 1年 安部 力輝さん  
「おかえりと 言えるふるさと 宇美町へ」

### 宇美中学校

優秀賞 2年 野口 みなみさん  
「待つんじゃない 自ら声かけ 輪をつなごう」

### 宇美南中学校

優秀賞 3年 永安 小哲さん  
「挨拶が 心と心の 架け橋に」

## 健康 だより

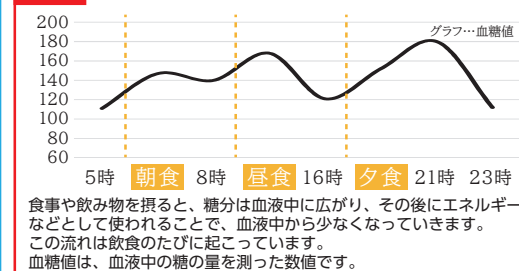
『食後の血糖値の上昇を数字で知ることができ、興味深かったです!!』  
町長血糖値チャレンジ報告～第2弾～

健康課 健康推進係  
☎ 934-2243  
FAX 933-7512(代)

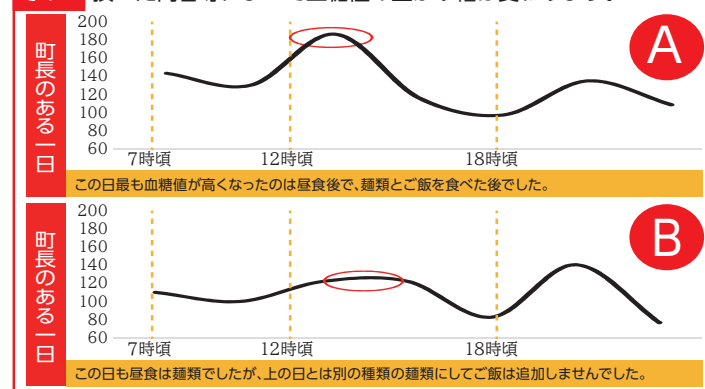
12月広報に引き続き『第2弾』として、町長の血糖値チャレンジの結果を掲載します。

### ①どんなことが分かったか？

その1 食事や飲み物を摂ると血糖値は変化します。



その2 摂った内容等によって血糖値の上がり幅は変わります。



### ②体の中で起きていることは？

『どんな物を食べ飲みしても、血液中に糖が残らずにすぎないようにするために「インスリン」というホルモンが働いています。』

血液中に糖が多い(=血糖値が高い)と、インスリンはたくさん働かなければならない状況になります。

町長のある一日では、AとBのどちらがインスリンの仕事量が多かったと思いますか？(※)

町長より



### ③まずは「知ること」。『知りたい方』は健康課へ…

インスリンが一生に出る量は決まっています。血糖値などを測定することで、インスリンがまだ働くことができているのかを知ることができます。自分のインスリンのこと、食事による自分の血糖値の変化のことなど知りたい人は健康課へ。

今まで血糖値など気にして食事をしたことはありませんでした。もともと間食をする方ではないのですが、血糖値を数字で知ることができて興味深かったです。

(※)インスリンの仕事量が多かったのはAのグラフです



町立図書館  
☎932-0600  
FAX932-0631

### 新年のご挨拶

慶賀光春

本図書館は、昨年4月から「知識の海(宇美)を航海しよう!行き隊・読み隊・楽しみ隊」をスローガンとして、さまざまな事業に取り組んでまいりました。

ウォルト・ディズニーは、「本には沢山の宝が眠っている」という言葉を遺しています。町民の皆さんには、今以上に本図書館を利用していただき、素晴らしい『宝』を見つけ自身の財産とし、さらにそれを多くの人に分け与えてくださることを願っています。

昨年11月から図書館システムが新しくなり、スマートフォンが図書館利用カードとして使えるようになりました。

また、今年4月からは、新たに作成した「第4次宇美町子ども読書活動推進計画」にそって、園・学校、地域、行政、関係団体、企業などと連携・協力して、子どもの読書活動を進めていく予定です。

今年も皆さんの憩いの場となるコミュニティとしての公共図書館を、職員と共にめざしてまいります。ぜひ、本図書館をご活用ください。

館長 中島 康幸

### 2月の特集コーナー

#### 一般書コーナー

テーマ「もふもふにゃんにゃん…吾輩ハ猫」

- 『老いてはネコに従え』 養老 孟司/著 宝島社
- 『ねこ瞑想』 前田 理子/著 辰巳出版(電子書籍)

#### YA(中・高校生向け)コーナー

- テーマ「Happy Valentine ～sweetな本と恋のはなし～」
- 『マステで素敵にアレンジ楽しいギフトと飾りつけ』 森 珠美/作品 メイツユニバーサルコンテンツ
- 『3分間で恋したくなる』 夕貴 そら 著 ポプラ社(電子書籍)

#### 児童書コーナー

テーマ「ねこだらけ」

- 『ねこはまいにちいそがしい』 ジョー・ウィリアムソン/作・絵 徳間書店
- 『ノラネコの研究』 伊澤 雅子 文 平出 衛 絵 福音館書店(電子書籍)

### 新刊本紹介

#### 一般書コーナー

『子育てのもー。図鑑』 つむばぱ/著 マガジンハウス  
「静かに遊んでるなー。」の時ほどやさしくしてる。買った風船を3秒で空に飛ばす。ポケットから大量のダンゴムシ…。3千人のパパ&ママから集めた、つつい「もー。」といいたくなる子育ての100のエピソードを収録。(TOOL i 出典)



宇美町  
電子図書館  
利用方法へはこちら



宇美町  
電子図書館へ  
はこちら